



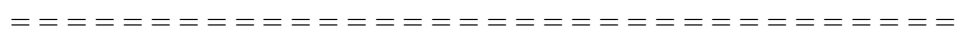
地域日本語支援ニュース こだま 第 359 号

2019.5.9



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。



■「AJALT 公開講座」のお知らせ■

◆◆来る 7 月 23 日（火）なかの ZERO 小ホールにて開催◆◆

さだまさしが奏で、語る

日本語応援宣言

講師： さだまさし（シンガー・ソングライター、小説家）

日時： 2019 年 7 月 23 日（火） 19:00～20:30（開場 18:00）

会場： 中野区立 なかの ZERO 小ホール 東京都中野区中野 2-9-7

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/219000/d002863.html>

定員： 500 名（要申込・先着順）

料金： 前売り 2,000 円（当日：2,500 円） ※税込

主催： 公益社団法人 国際日本語普及協会（AJALT）

今年度の「AJALT 公開講座」は、7 月 23 日（火）19:00 より、東京中野区の「なかの ZERO 小ホール」で開催します。

◆さだまさしさんの公開講座が 5 年掛けてようやく実現しました

昨今の少子高齢化の進展に伴って外国人の方々の活躍が益々求められる中、日本人一人ひとりに多様な人たちと共生していくためのコミュニケーション力やことばの力が求められるようになってきております。くわえて、外国人の方々への日本語教育の更なる体制整備も重要な課題になっております。

そうした中、さだまさしさんの作品は聴くたびに、日本語の表現力の奥深さ、幅広さに気づかされ、心が打たれるのは日本人だけではありません。例えば、

日本語学習の現場で「～するな」の文型を学ぶ際に、さだまさしさんの名曲「関白宣言（かんぱくせんげん）」（※注1）を聴いてもらおうと、使用場面が広がったと大変好評です。そこから、別の名曲「案山子（かかし）」（※注2）や他の歌へも興味が増し、さだまさしさんのファンになったという人も多くいます。今日日本語を学んでいる学習者の方々にもこのさだまさしさんの魅力をお伝え出来たらと考えて、アプローチして参りました。

今年度の公開講座では、日本語教育関係者のみならず、日本語学習者も含めた、広く一般の方々に、日本語と日本文化について一層の関心を持っていただきたいと考えます。そこで、さだまさしさんの「味わい深く、心を打つ、美しい日本語（歌詞）の魔力の秘密」、「人の心を引きつけ離さない、豊かな表現力（話術）の秘訣」にせまり、さだまさしさんの魅力の本質にも接することができたらと考えております。

◆さだまさしさんの講演内容

さだまさしさんの魅力的な歌詞や曲はどこから、どのように生まれて来るのでしょうか。「風に立つライオン基金」（へき地医療、災害救援の従事者への支援）立ち上げの思いや活動の原点とは。

これからの日本に向けて、残し、伝えたいこと、そして、母国から離れ、文化も言葉も違う日本で、人生を切り開こうとされている外国人の方々への温かな応援の言葉を、さだまさしさんの言葉と歌で、奏で、語っていただけるタベです。

☆さだまさしさんのプロフィール☆

長崎市出身。シンガー・ソングライター、小説家。1973年フォークデュオ・グレープとしてデビュー。1976年ソロ・シンガーとして活動を開始。「関白宣言」「北の国から」など数々のヒット曲を生み出す。通算4300回を超えるコンサートのかたわら、小説家としても「解夏（げげ）」「風に立つライオン（※注3）」などを発表。多くの作品が映画化、テレビドラマ化されている。また、NHK「今夜も生でさだまさし」のパーソナリティとしても人気を博している。2015年8月一般財団法人 風に立つライオン基金を設立（2017年7月、公益財団法人として認定）。様々な助成事業や被災地支援事業を行っている。2019年5月15日、セルフカバーアルバム『新自分風土記』2タイトルを発売。同月18日から全国ツアー開始。

注 1) 夫が妻に向けて自身の希望を歌った曲で、「～するな」の文型が多く使われている

注 2) 故郷にいる兄が、弟の都会での生活を気遣う歌

注 3) ケニアに赴任した青年医師の決意と日本に残した人への想いを綴った小説

(AJALT 公開講座担当委員 大山)
